

## 令和5年度「地域福祉に関する住民アンケート調査」結果

### (1)調査の仕様

調査地域	朝日町全域
調査対象	令和5年8月1日現在に朝日町に在住している20歳代～70歳代の住民
サンプル数	500人
抽出方法	層化無作為抽出
調査方法	質問紙法(郵送)
調査期間	令和5年9月11日～9月29日

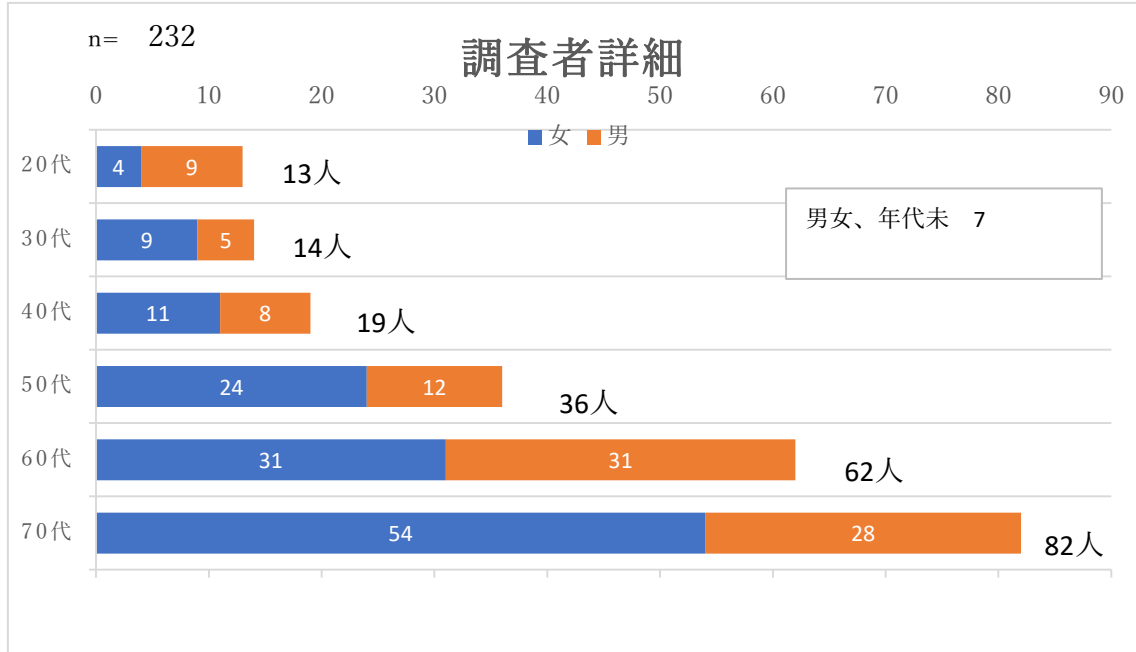
### (2)回収状況

配布数	回収率	男性	女性	未記入
500	233	93	133	7
回収率	46.6%	18.6%	26.6%	1.4%

### (3)年齢別人数

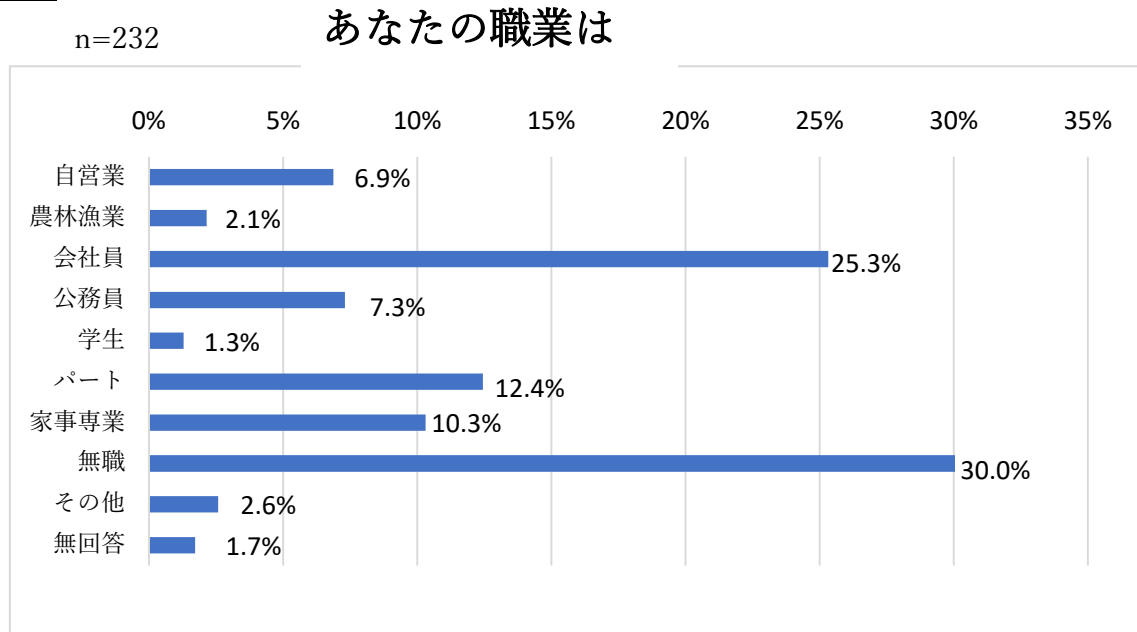
年代	人数	比率(%)
20歳代	13	5.6
30歳代	14	6.0
40歳代	19	8.2
50歳代	36	15.5
60歳代	62	26.6
70歳代	82	35.1
未記入	7	3.0
合計	233	100

## 問1・問2



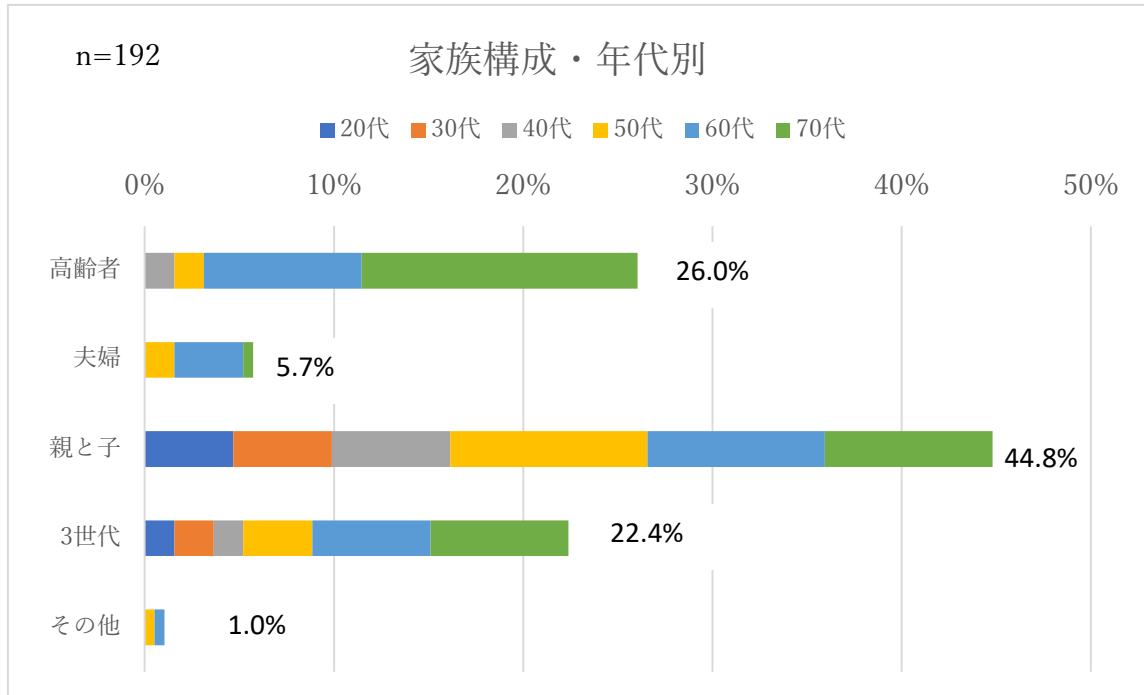
調査対象者は、全体で232名(回収率46%)。20代13名、30代14名、40代19名、50代36名、60代62名、70代82名、未記入者7名。

## 問4



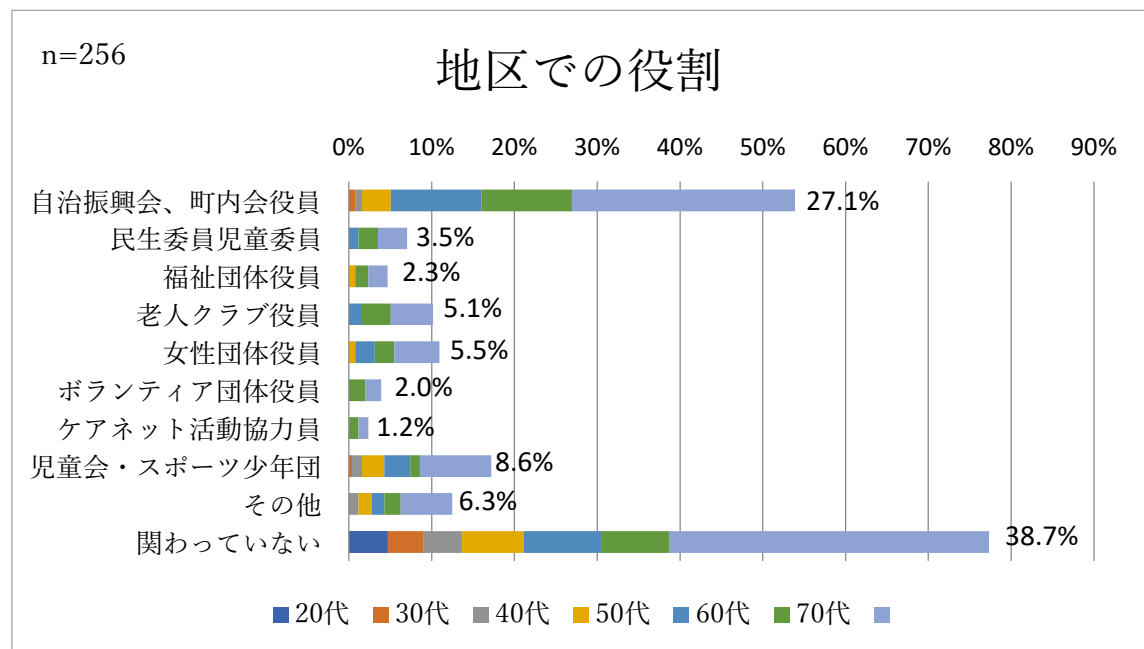
「無職」が最も多く30.0%、ついで「会社員」が25.3%、「パート」12.4%となった。平成28年は「会社員・団体職員」が35.8%、ついで「無職」が20.7%だった。

問5・5-1



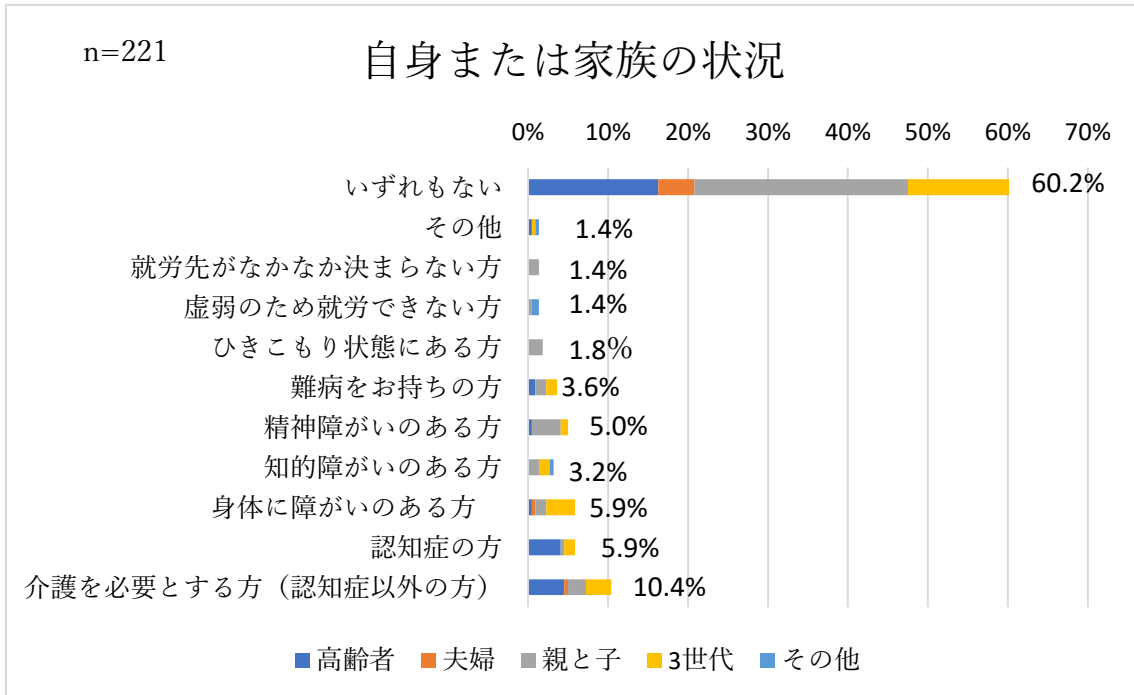
「親と子の世帯」が最も多く44.8%、ついで「高齢者」が26.0%、「3世代」が22.4%となった。平成28年度は、「親と子の世帯」が最も多く41.0%、ついで「親・子・孫の世帯」が29.4%、「高齢者世帯」が17.9%であった。

問6



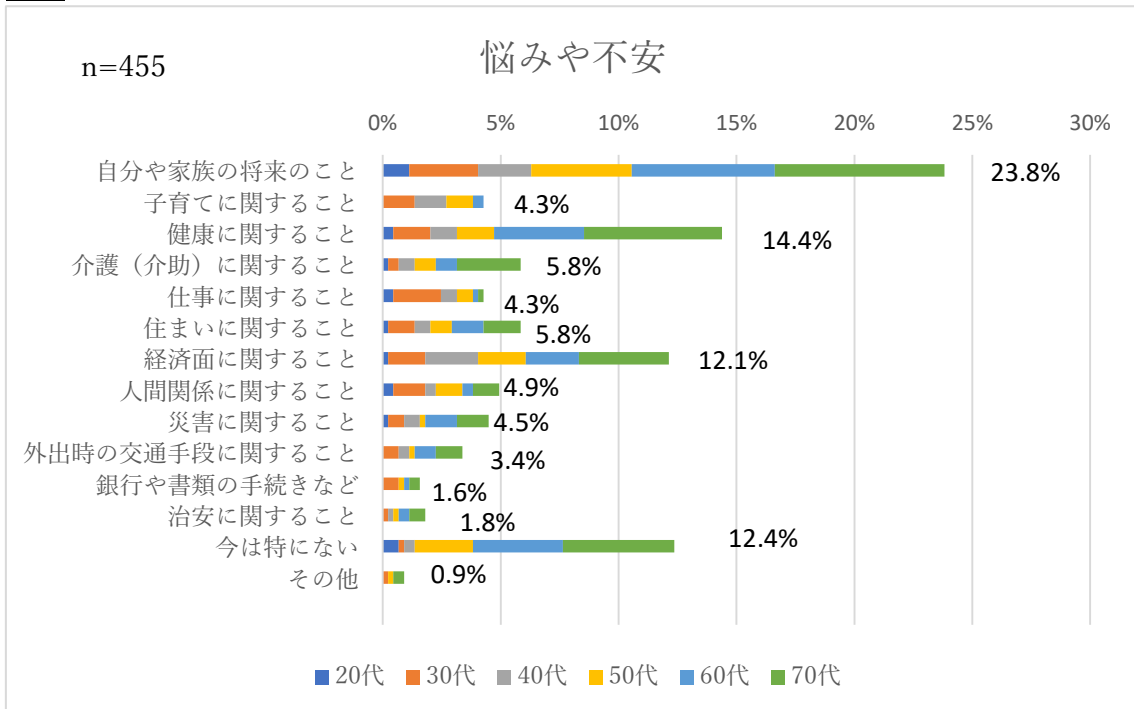
「関わっていない」との回答が38.7%と一番多く、次に「自治振興会、町内会役員」が27.1%となった。平成28年度は、「関わっていない」との回答が32.2%と一番多く、次に「自治振興会、町内会役員」が24.1%だった。

問7



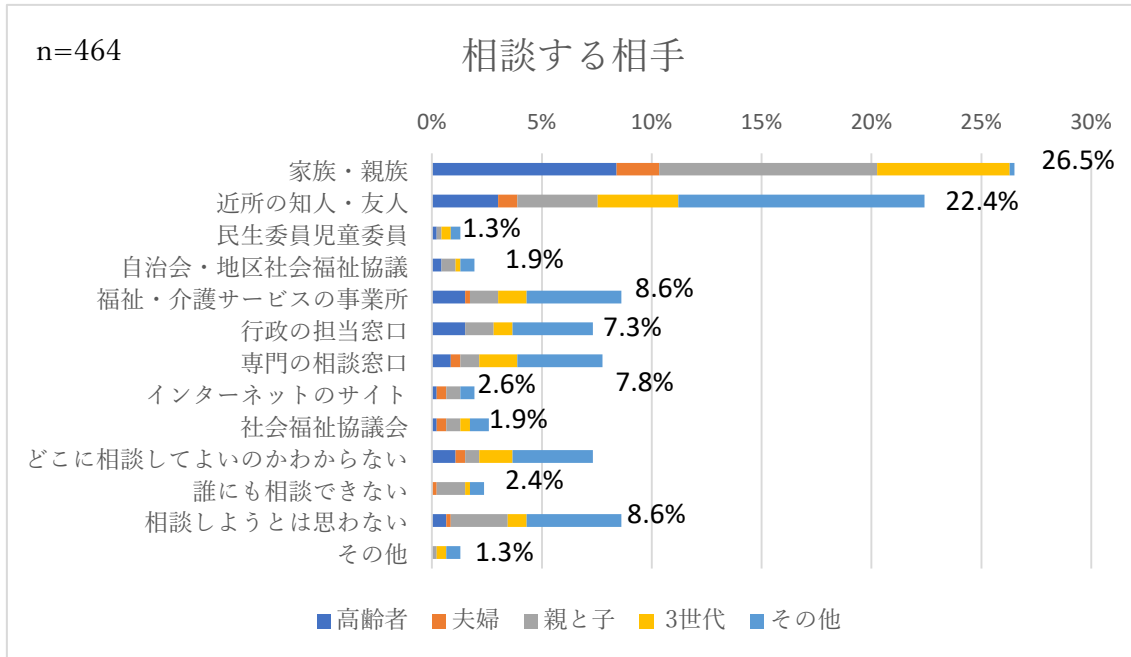
「いずれもない」の回答が 60.2%と一番多い結果となった。ついで「介護を必要とする方」が 10.4%となった。平成28年度は「介護を必要とする方」が 3.5%だった。

問8



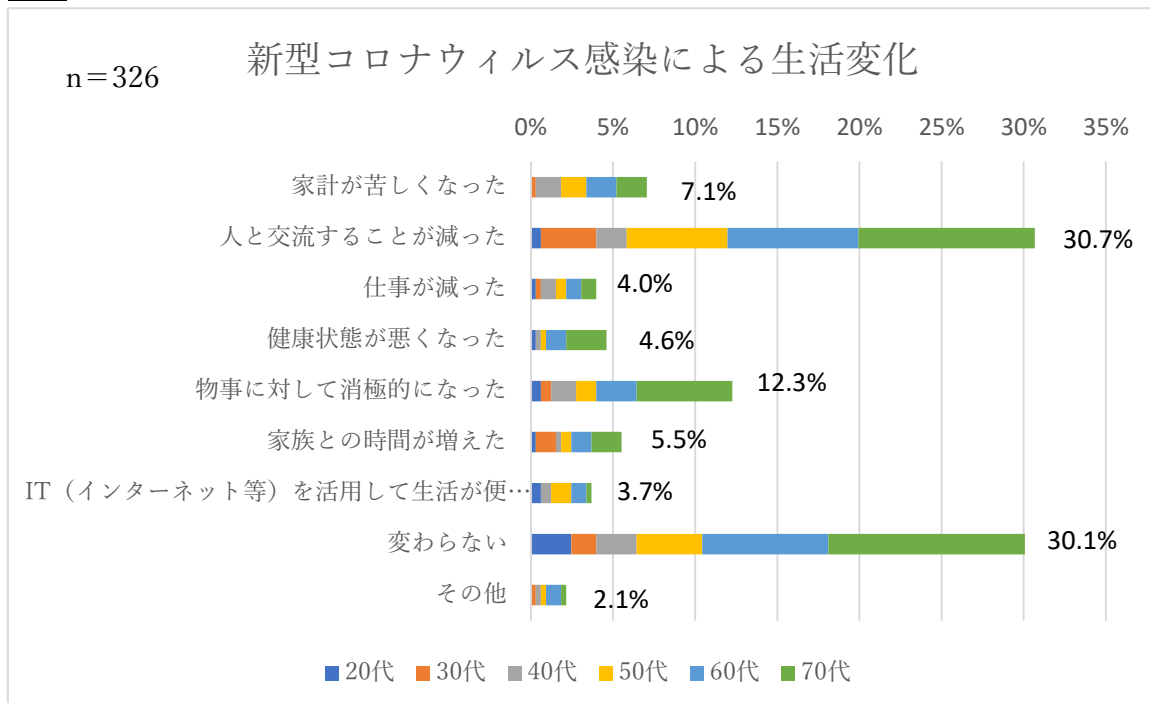
「自分や家族の将来のこと」が 23.8%、「健康に関すること」が 14.4%、「経済面に関すること」12.1%となった。平成28年度は、「自分や家族の将来のこと」が20.1%、「健康に関すること」が 18.1%、「経済面に関すること」10.3%だった。

問8-1



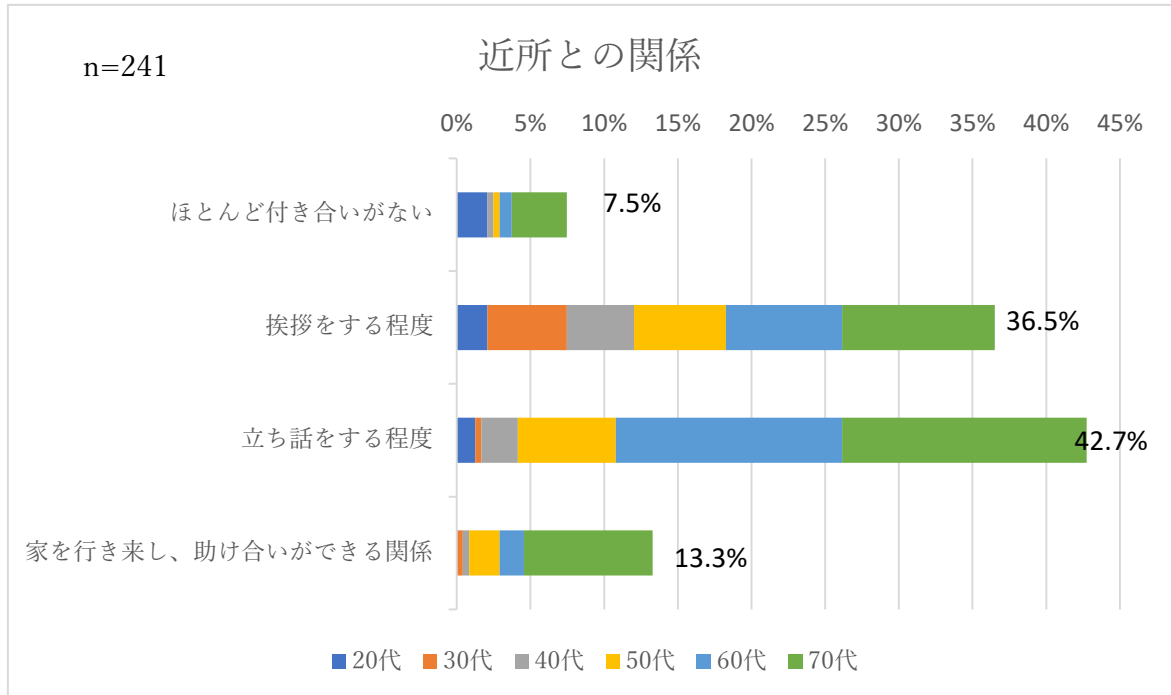
「家族・親族」が一番多く 26.5%、「近所の知人・友人」が 22.4%となった。平成28年度は「家族・親族」が 47.2%、ついで「近所の知人・友人」が 18.8%であった。平成28年度よりも専門機関へ相談する方が増えている。

問9



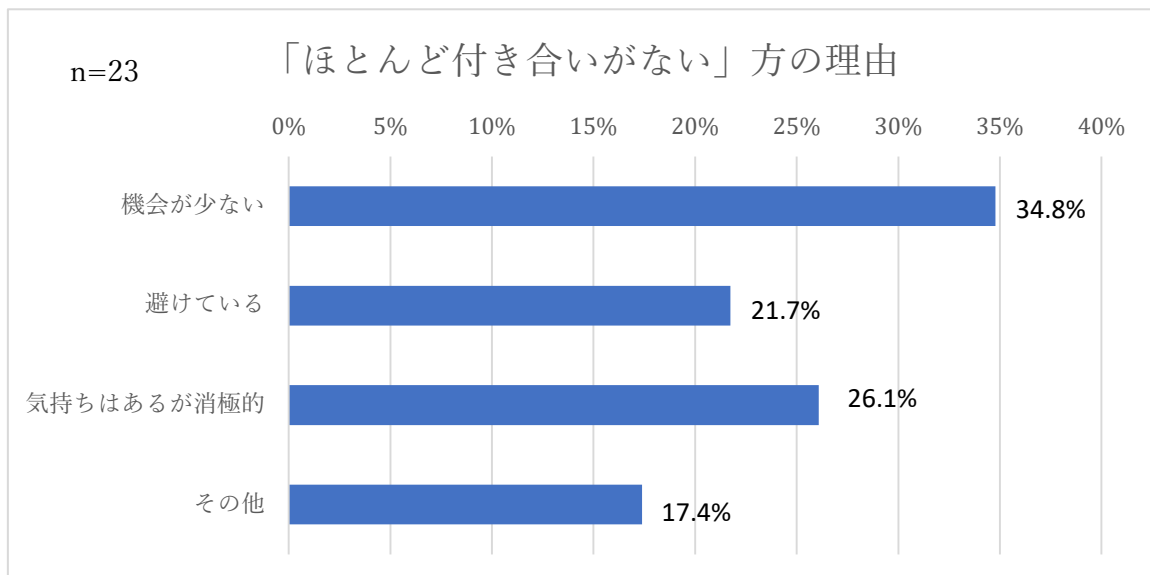
「人と交流することが減った」が一番多く 30.7%、ついで「変わらない」が 30.1%となった。

問10



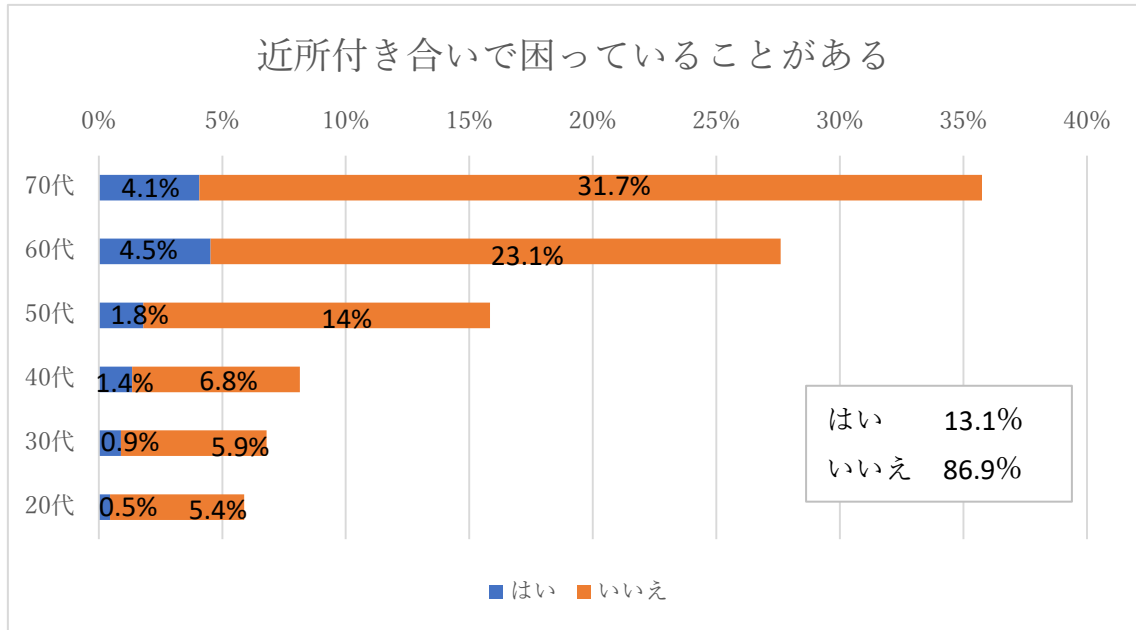
「立ち話をする程度」が42.7%、「挨拶をする程度」が36.5%、「家を行き来し、助け合いができる関係」が13.3%となった。平成28年度では、「立ち話をする程度」が39.8%、「挨拶をする程度」が33.2%、「家を行き来し、助け合いができる関係」23.0%だった。

問10-1



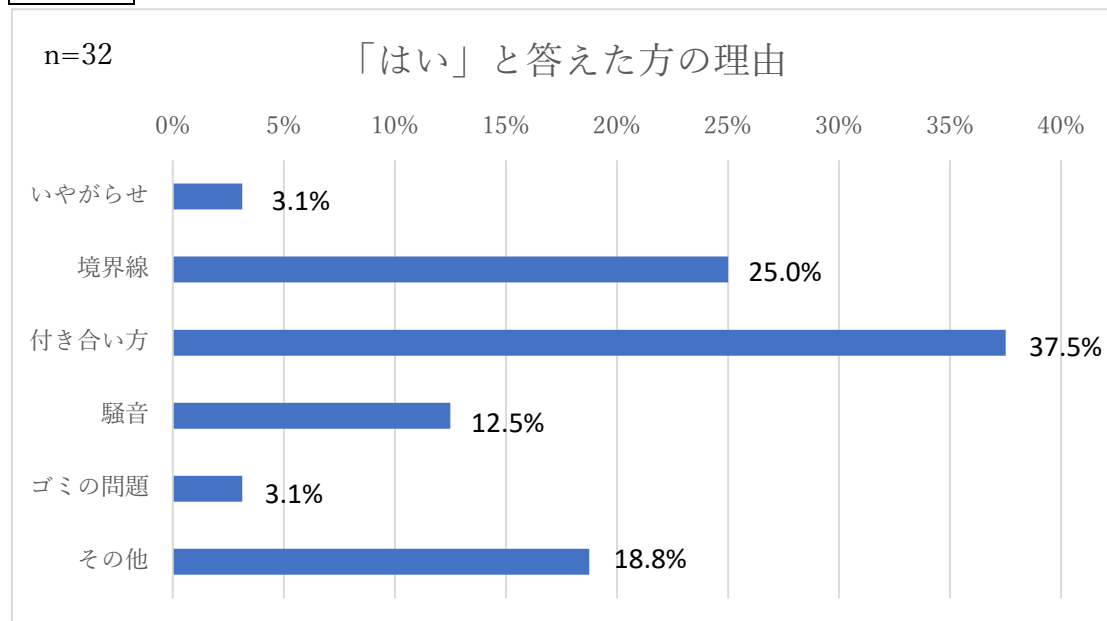
「機会が少ない」が一番多く34.8%、ついで「気持ちはあるが消極的」が26.1%となった。平成28年度は「機会が少ない」が45.0%、避けているが32.5%だった。

問11



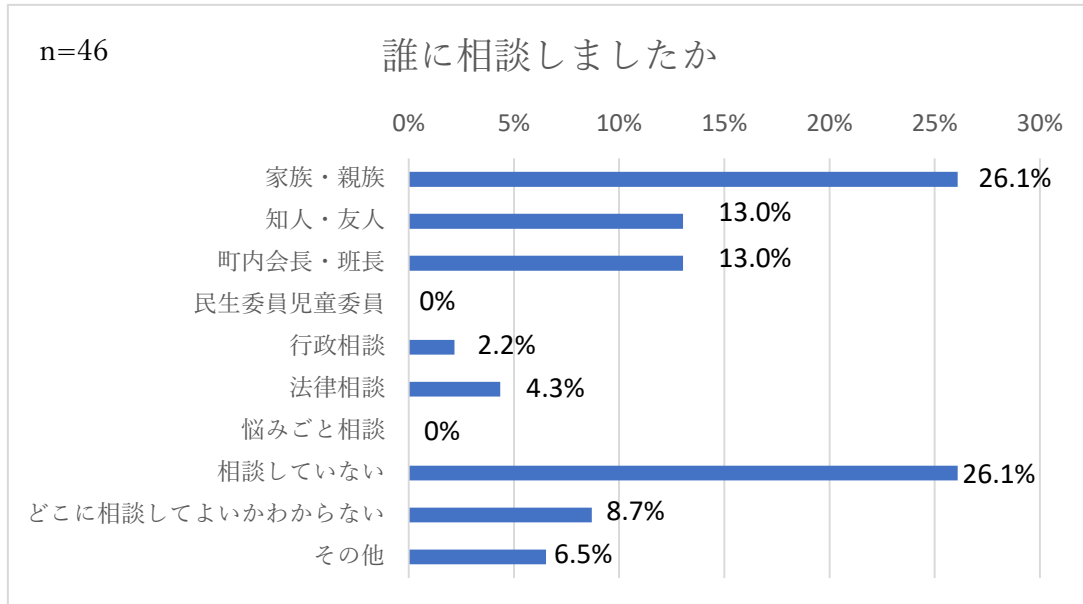
「いいえ」が 86.9%でどの世代でも多く占めている。「はい」は 13.1%であった。

問11-1



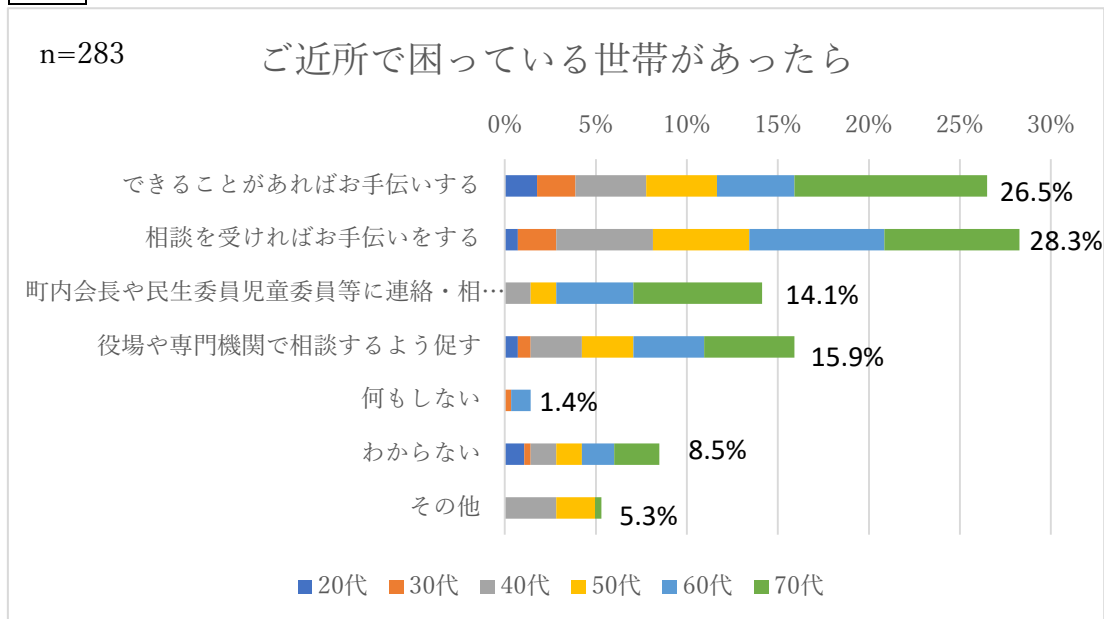
「付き合い方」が 37.5%、「境界線」25.0%となっている。

問11-2



相談相手として「家族・親族」が一番多く 26.1%、「相談していない」も26.1%であった。

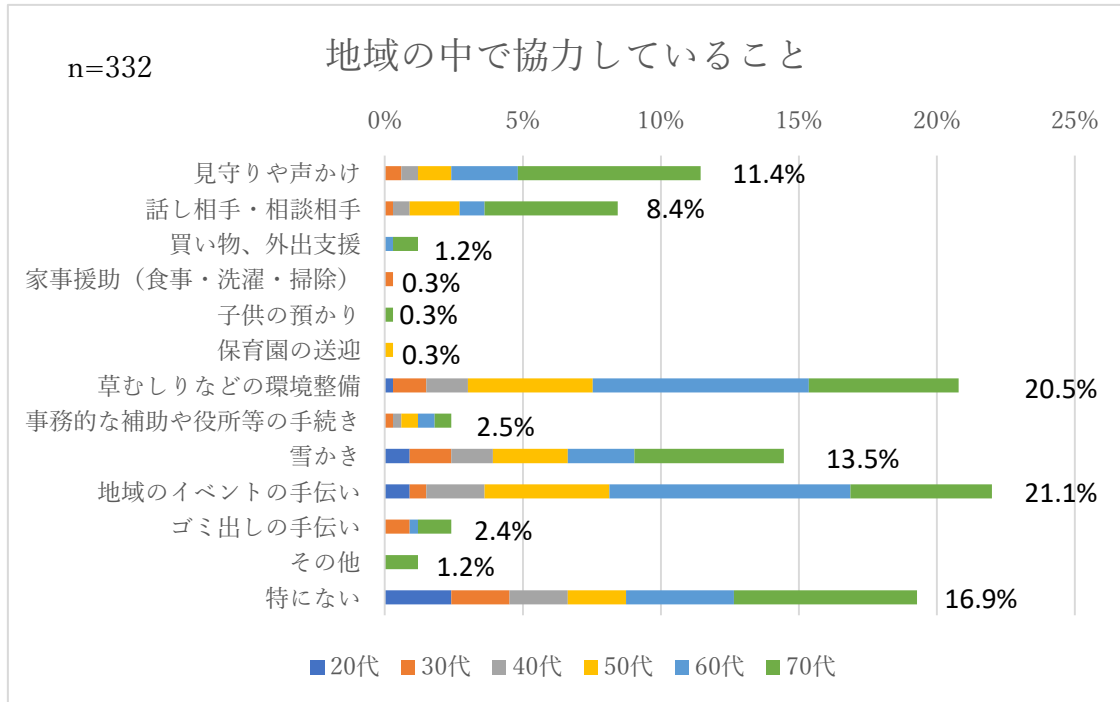
問12



「相談を受ければお手伝いをする」が一番多く 28.3%、ついで「できることがあればお手伝いする」が 26.5%であった。平成 28 年度は「できることがあればお手伝いする」が最も多く 31.2%、ついで「相談を受ければお手伝いをする」が 28.8%であった。

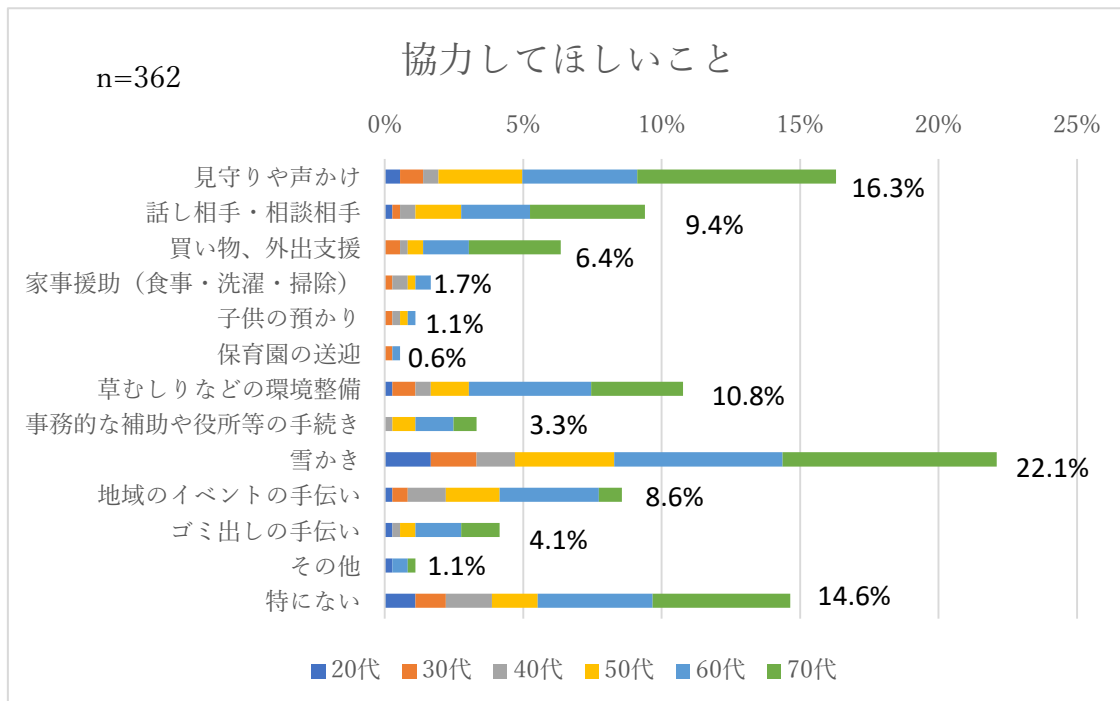


問13



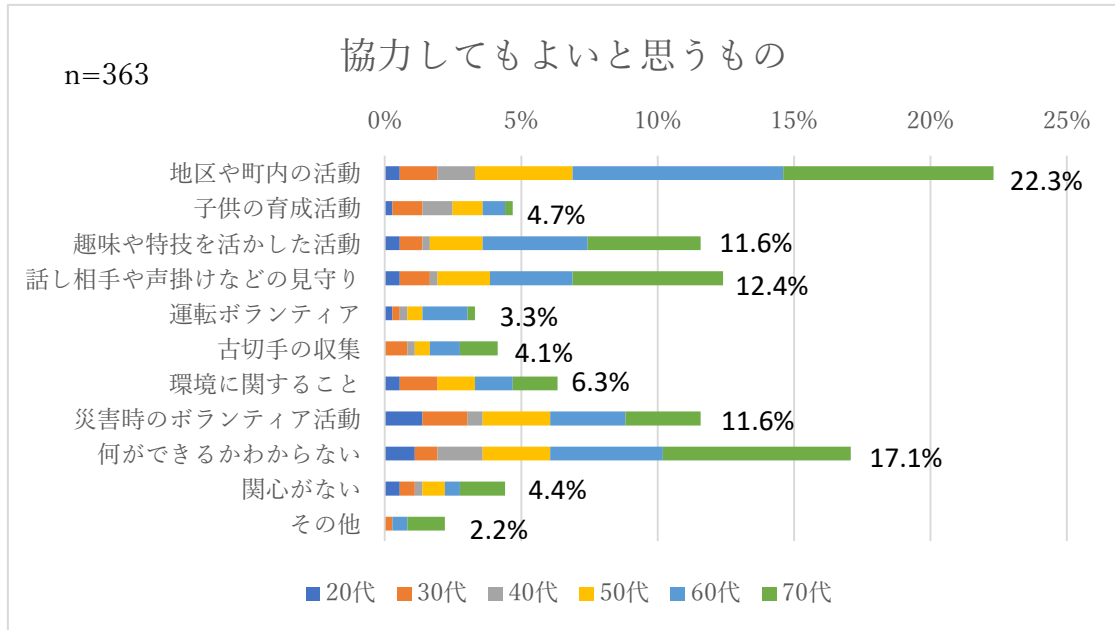
「地域のイベントの手伝い」が一番多く 21.1%、ついで「草むしりなどの環境整備」が 20.5%、「特にない」が 16.9%であった。平成28年度は「地域のイベントの手伝い」が 20.0%、ついで「特にない」が 19.3%だった。

問14



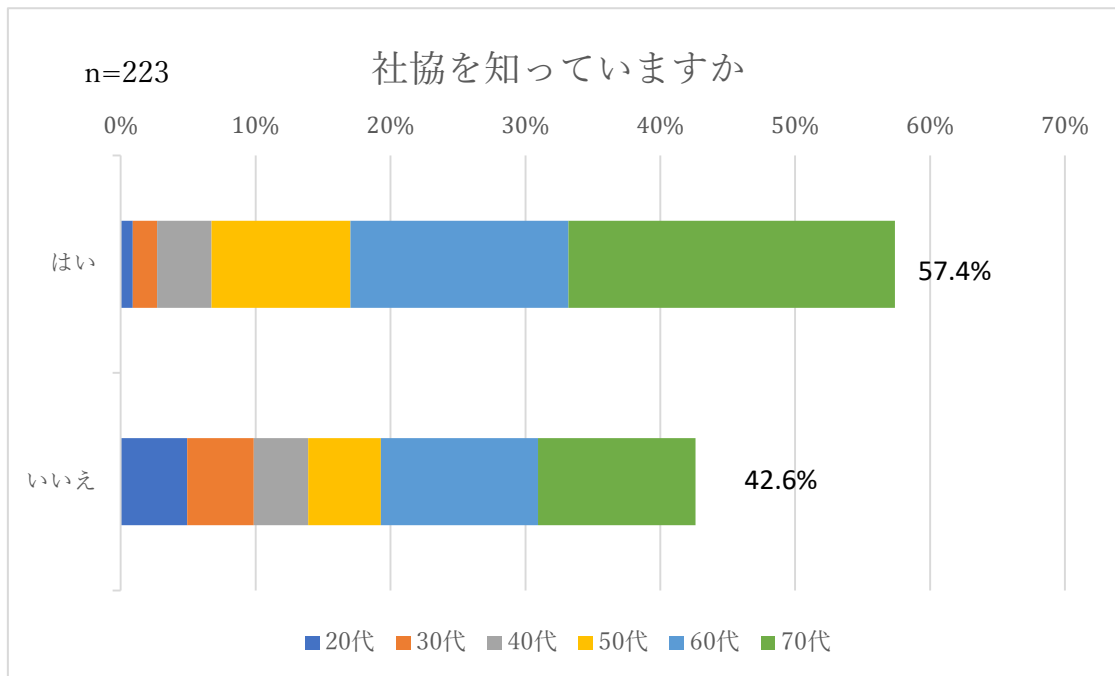
「雪かき」が一番多く 22.1%、ついで「見守りや声かけ」が 16.3%となった。平成28年度は、「雪かき」が 17.8%、ついで「見守りや声かけ」が 17.4%であった。

問15



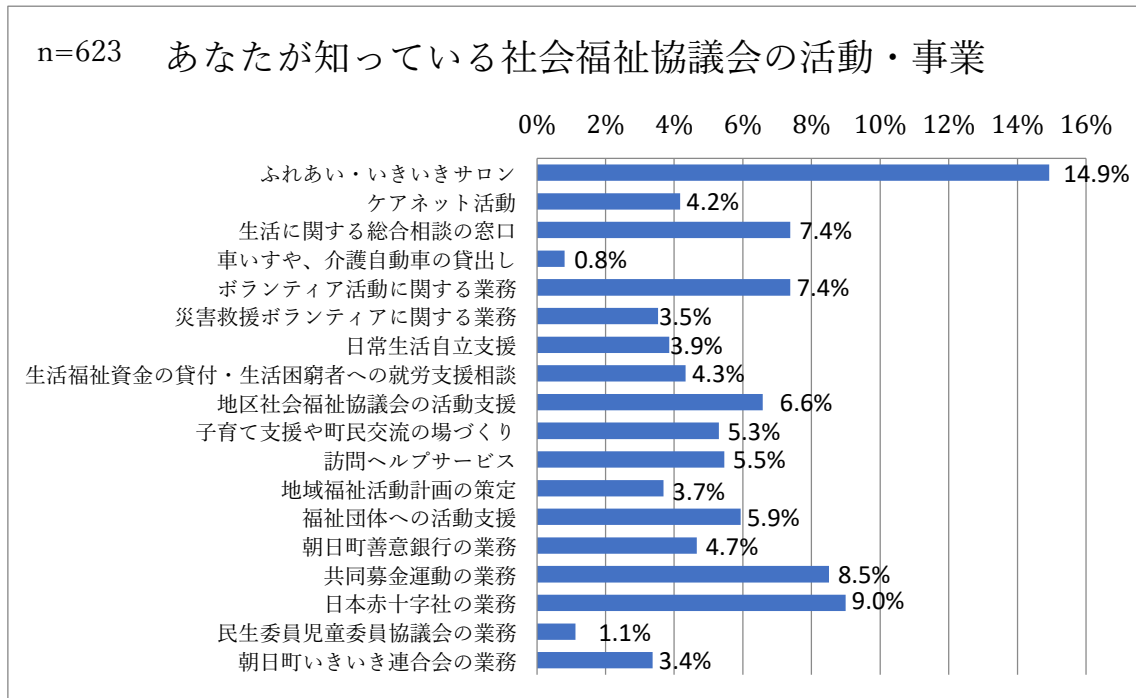
「地区や町内の活動」が一番多く 22.3%、ついで「何ができるかわからない」が 17.1%となった。平成 28 年度は、「地区や町内の活動」が 25.5%、「見守り」「何ができるかわからない」が 13.4%だった。

問16



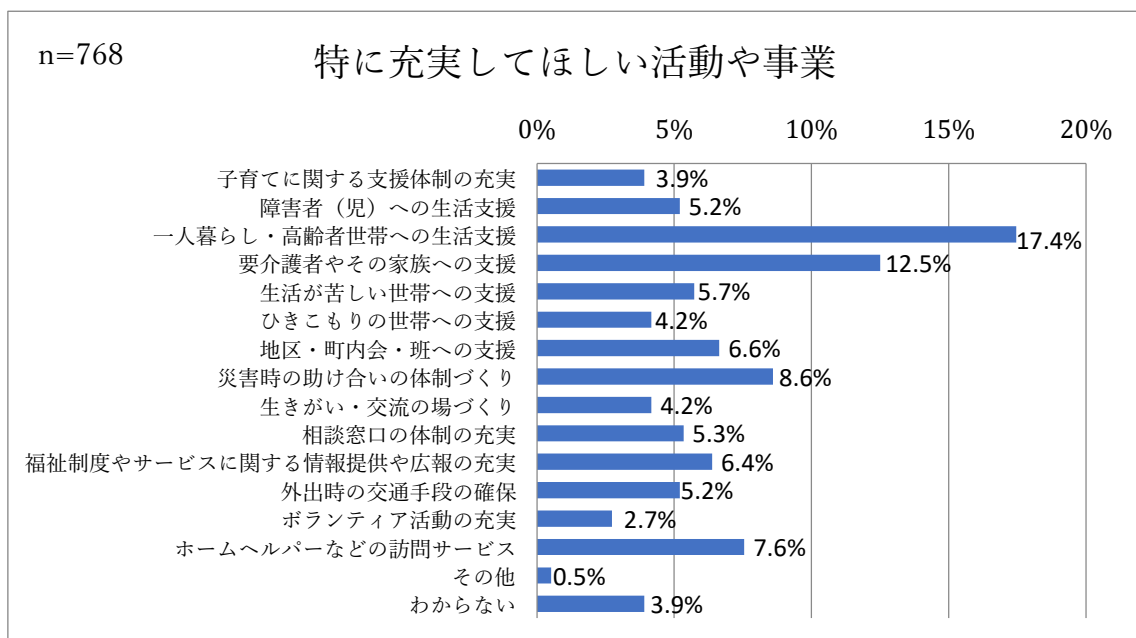
「はい」が 57.4%、「いいえ」は 42.6%。平成28年度は、「活動内容もだいたい知っている」が 26.1%、「活動内容はよく知らない」は 51.3%、「知らない」が 22.6%だった。

問16-1



「ふれあい・いきいきサロン」が一番多く 14.9%、ついで「日本赤十字社の業務」が 9.0%、「共同募金運動の業務」8.5%となっている。平成28年度は、「ふれあい・いきいきサロン」が 16.1%、ついで「共同募金運動の業務」8.5%、「民生委員児童委員協議会の業務」が 10.9%であった。

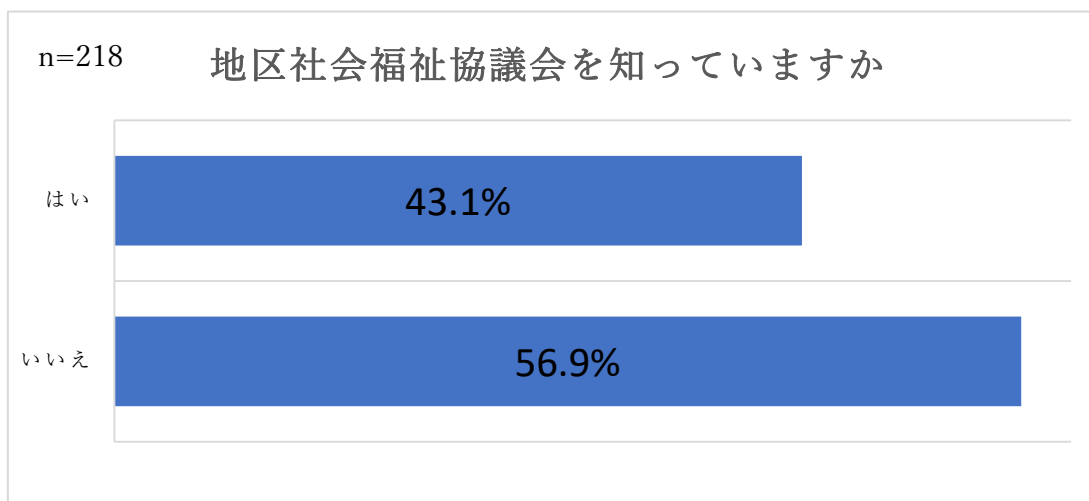
問17



「一人暮らし・高齢者世帯への生活支援」が一番多く 17.4%、ついで「要介護者やその家族への支援」が 12.5%、「災害時の助け合いの体制づくり」8.6%となった。平成 28 年度は 22.1%、「要介護者家族への支援」が 17.4%、「災害時の助け合

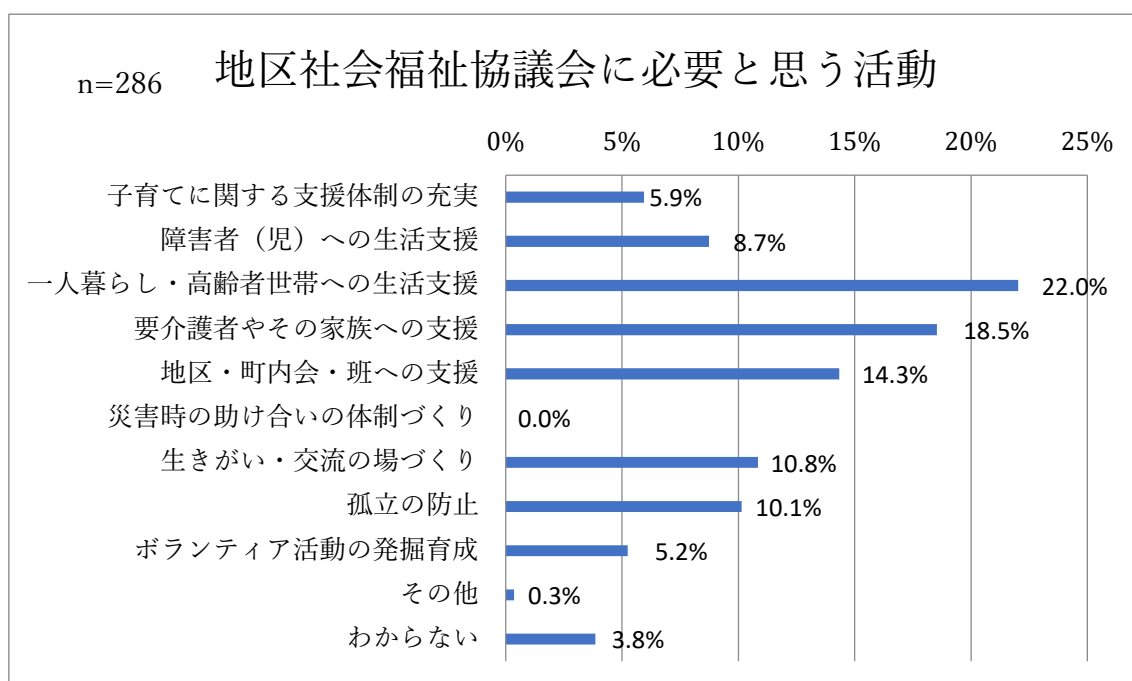
いの体制づくり」が 9.1%だった。

問18



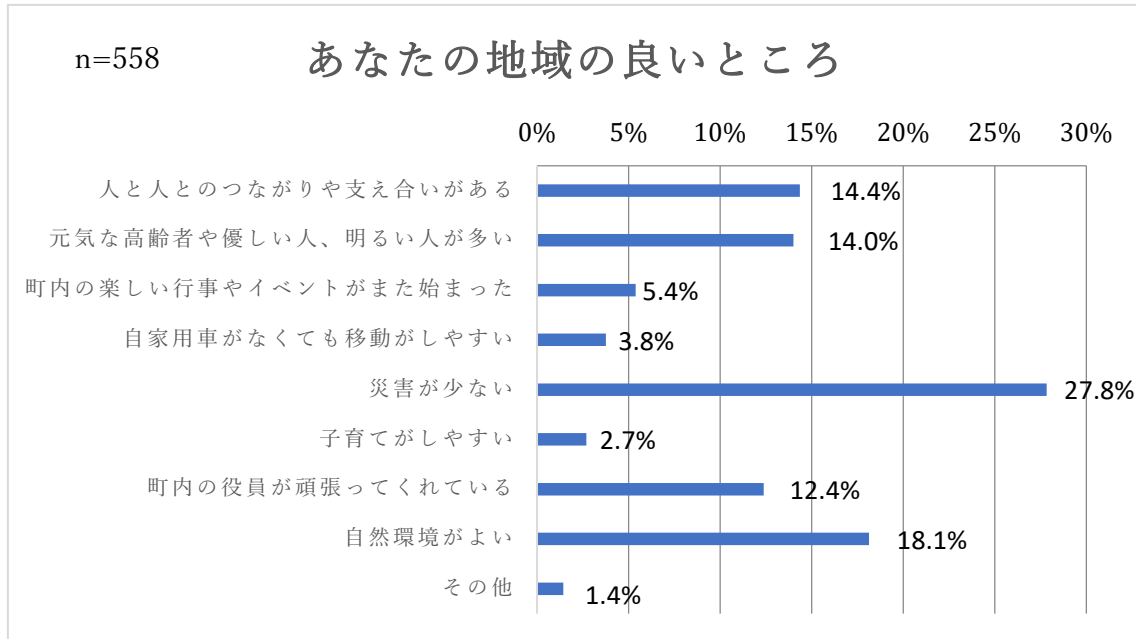
「はい」と答えた方が 43.1%、「いいえ」と答えた方が 56.9%となった。平成 28 年度は、「はい」が 53.1%、「いいえ」が 46.9%だった。

問18-1



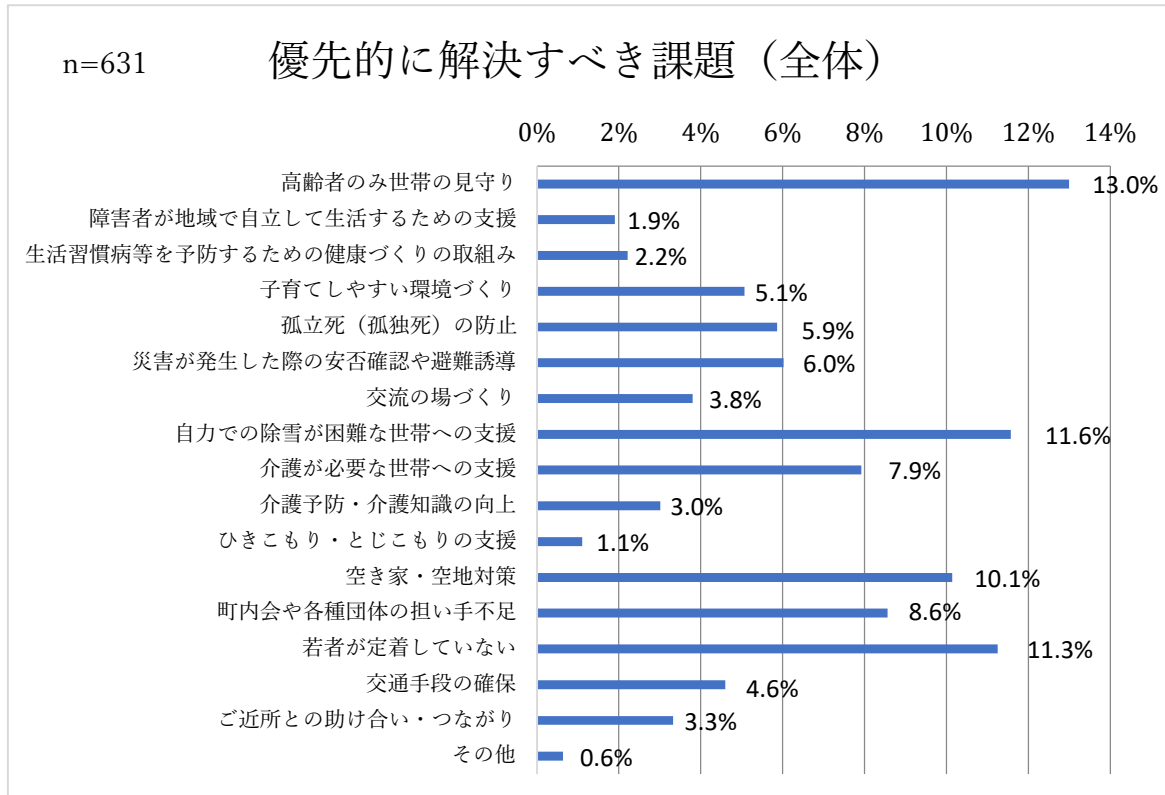
「一人暮らし・高齢者世帯への生活支援」が一番多く 22.0%、ついで「要介護者やその家族への支援」が 18.5%、「地区・町内会・班への支援」14.3%となった。平成 28 年度は、「一人暮らし・高齢者世帯への生活支援」が 20.3%、ついで「要介護者やその家族への支援」が 16.0%、「災害時の助け合いの体制づくり」が 11.8% だった。

問19

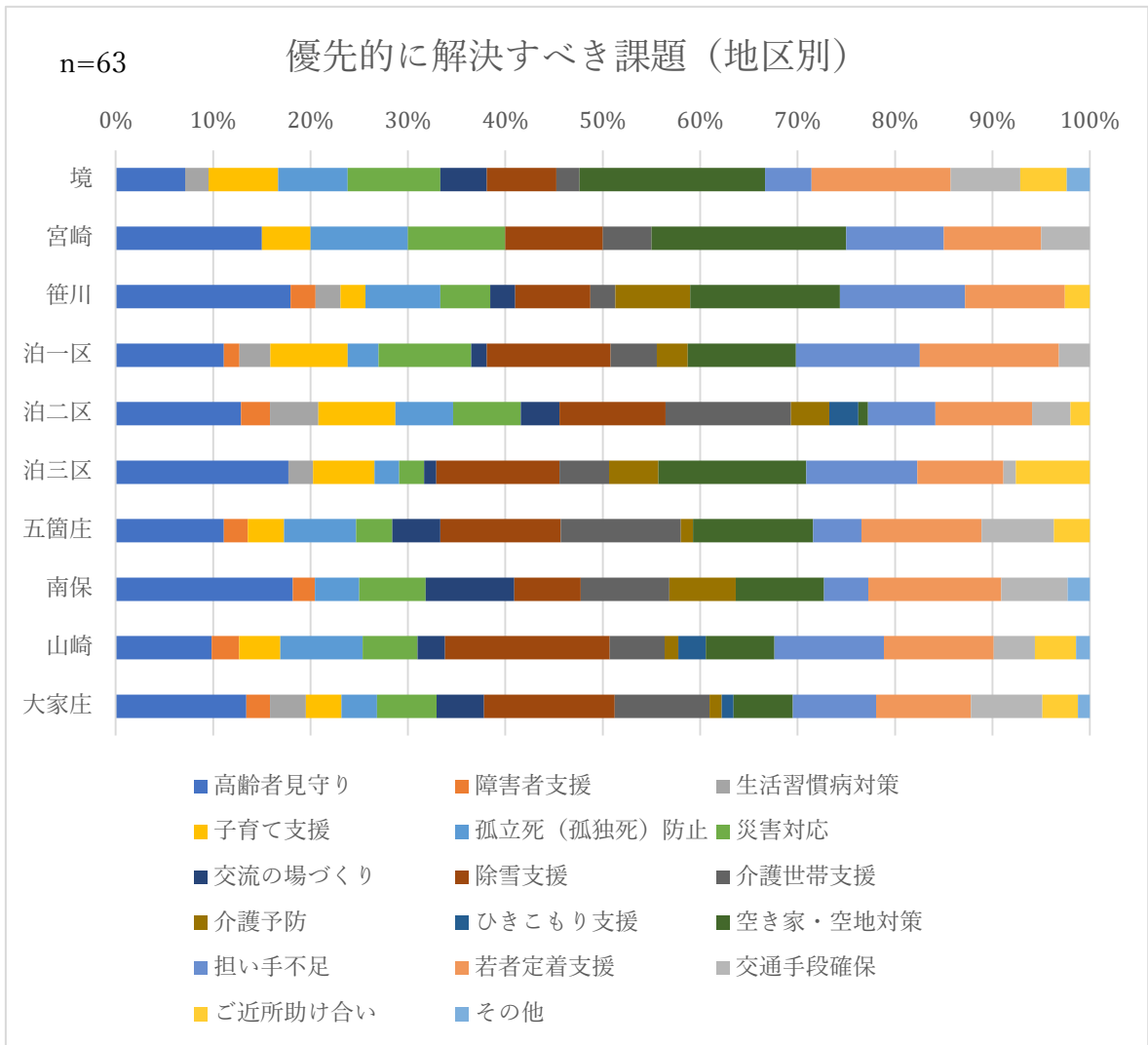


「災害が少ない」が一番多く27.8%、ついで「自然環境がよい」18.1%、「人と人とのつながりや支え合いがある」14.4%、「元気な高齢者や優しい人、明るい人が多い」が14.0%となった。

問20



【地区別】



「高齢者のみ世帯の見守り」が一番多く13.0%、「自力での除雪が困難な世帯への支援」が11.6%、「若者が定着していない」11.3%、「町内会や各種団体の担い手不足」が8.6%となった。平成28年度は、「高齢者のみ世帯の見守り」が14.6%、「空き家・空地対策」11.6%、「若者が定着していない」9.8%、「除雪困難な世帯への支援」と「担い手不足」が各9.3%だった。